

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	舩松社会教育会館管理運営			シート番号	038-069
担当部署名	教育委員会事務	局	地域教育支援	部	地域教育振興
				課	評価責任者(課長名)
					八木

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人権を尊重するまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	昭和 63 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立舩松社会教育会館条例、堺市立舩松社会教育会館管理運営規則、堺市立舩松社会教育会館使用料規則			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	同和対策事業の一環として、昭和63年4月に舩松社会教育会館が設置された。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	周辺地域住民、地域団体及び社会教育関係団体					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	基本的人権の享有を保障する日本国憲法の理念にのっとり、同和問題をはじめあらゆる人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	舩松社会教育会館の維持管理及び会議室・和室の貸室					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益財団法人 堺市就労支援協会						

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費 (a)	千円	1,142	1,129	1,168	1,165	1,179	1,174	1,179	
主な事業費内訳	施設管理委託料	千円	921	921	963	954	968	962	968
	需用費	千円	203	190	187	193	193	194	193
	役務費	千円	18	18	18	18	18	18	18
		千円							
財源内訳	国・府支出金	千円							
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	45	35	39	35	39	33	39
	市債	千円							
その他()	千円								
一般財源	千円	1,097	1,094	1,129	1,130	1,140	1,141	1,140	
12 人件費 (b)	千円	1,004	1,004	1,004	820	810	810	3,280	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,146	2,133	2,172	1,985	1,989	1,984	4,459	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	舩松社会教育会館管理運営	シート番号	038-069
-------	--------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	・利用の受付件数は、例年並みである。 ・1回あたりの利用人数が多い校区福祉委員会での利用減により利用人数は減少したが、外国語会話の利用回数に伸びが見られた。 ・人権問題の速やかな解決をめざし、文化活動を通して市民の教養と文化の向上に資することを目的とする趣旨に合致する外国語会話や工作の教室に毎週利用されており、社会教育施設としての役割を果たしている。						
		15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		会館受付件数	目標値	95	95	95	80	
			実績値	80	77	78		
			達成率	84%	83%	82%		
	評価		普通	普通	普通			
	算出方法・設定根拠など 前年度実績基準(新型コロナウイルスの感染拡大により、年度当初より休館しており、再開後も利用を控える動きがあったため、受付件数が減少すると見込み、目標値を下方修正した。)							
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		貸室利用人数	目標値	1,120	1,120	1,120	930	
			実績値	1,100	1,230	880		
達成率			98%	106%	79%			
評価			普通	良い	少し悪い			
算出方法・設定根拠など 前年度実績基準(新型コロナウイルスの感染拡大により、年度当初より休館しており、再開後も利用を控える動きがあったため、利用人数が減少すると見込み、目標値を下方修正した。)								

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	受付件数	件	80	77	78
	②	上記①にかかる年間経費	千円	431	431	431
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	5,388	5,597	5,526
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	利用人数	人	1,100	1,230	880
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,133	1,985	1,984
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,939	1,614	2,255
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	平成31年度(令和元年度)の貸館としての利用人数については、年度末に新型コロナウイルスの影響を少し受けたが、利用件数自体はそれほど減少しておらず、貸館としての必要性は大きい。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	舩松社会教育会館管理運営	シート番号	038-069
-------	--------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 地元に着した社会教育施設として利用されている状況に鑑みると、当該施設を廃止する場合、これに代わるものが必要となるため、現状を維持することが事業費用の面からも低コストである。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 一時的に休止したとしても施設の維持管理費用は必要であり、コスト減のメリットは少ないため。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 施設の維持管理にかかる委託料がコストの大部分を占めており、現在も必要最小限の費用で館の運営を行っていることから、コスト削減につながらないため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 利用者が十分なソーシャルディスタンスをとるなど、3密を避けることや消毒の徹底などを周知することによって、継続が可能であるため。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 受付、利用料の徴収に関して、市民の就労促進、人権問題の解決、地域振興を目的として設立され、市と一体になって就労促進事業を進めている団体に委託して行っている。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 施設の耐用年数、修繕の可否等を踏まえながら、公有財産に関し総合調整を図る部署をはじめ、関係課と連携することにより、施設の適切かつ円滑な運営を図っていく。		